

# 2022年度 法科大学院

## 第1期入学試験問題

2時限

民法

(論文式)

試験時間 50分

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [民法]

X、Y、Aは、それぞれ400万円、300万円、200万円を出し合い、BからB所有の甲建物（時価900万円）を購入した。X、Y、Aの話し合いにより、甲建物は、X、Y、Aの共有とし、それぞれ持分を、X、 $\frac{4}{9}$ 、Y、 $\frac{1}{3}$ 、A、 $\frac{2}{9}$ とする旨が合意され、その旨の登記がなされた。なお、甲建物の使用方法については、特に合意されていない。甲建物取得後は、Yがずっと甲建物を使用しており、X、Aは、甲建物を使用することができない。

この場合において、Xは、Yに対して、いかなる請求をすることができるかを検討しなさい。なお、問題の検討にあたって、場合分けが必要な場合には、場合分けをして答えなさい。